

令和7年度 静岡県教育研究会

＜第2回＞書写教育研究部委員研修会

令和7年 10月7日(火) 14:30～16:30

静岡県教育会館 大会議室

◇静教研テーマ 「 **ときめき かかわり 未来へつなぐ** 」

◇令和7年度 書写研究部テーマ

「正しく整えて書くことを生活に生かそうとし、

文字文化を大切にする子を育てる書写教育」

1. 開会のことば (副部長)
2. 部長講話 (羽山部長)
3. 議 事 (議長:部長)
 - (1) 令和7年度夏季研究大会成果と課題(高村実行委員長)
 - (2) 令和8年度以降の夏季研究大会の計画(小林)
 - (3) 第75回「県席書コンクール」の実施について(小倉)
 - (4) 第19回「県書き初めコンクール」について(小松)
 - (5) 令和8年度夏季研究大会について(尾崎実行委員長)
 - (6) 今後の調査研究活動について(小林)
4. 連 絡
 - ・ 各種原稿の執筆について
 - ・ 第3回委員研修会の日程…令和8年2月17日(火) 静岡県教育会館 中会議室(地下)
 - ・ 令和7年度「地区別研修報告書」について * 提出期日…令和8年1月23日(金)
 - ・ その他
5. 全体会の閉会のことば (副部長)
6. 地区別研修 (副部長を中心に東部・中部・西部ごとに)

静岡県教育研究会書写教育研究部

令和7年度 静岡県教育研究会書写教育研究部 組織

No.	地区名	氏名	学校名	郵便番号	学校住所	電話番号	ファクシミリ
代表	部長	羽山 和美	焼津市立大井川東小学校	421-0205	焼津市宗高428	054-622-0010	054-622-7910
	副部長	静岡 井上聖一郎	静岡市立竜南小学校	420-0804	静岡市葵区竜南1-23-1	054-246-3061	054-247-5734
		静岡 荒井 威雄	伊東市立対島中学校	413-0232	伊東市八幡野1128-3	0557-53-0046	0557-53-1184
事務局	事務長	小林 良樹	焼津市立豊田小学校	425-0077	焼津市五ヶ堀之内2	054-628-3201	054-626-1951
	会計主任	田宮 宗典	藤枝市立藤枝中学校	426-0087	藤枝市音羽町1丁目1-51	054-641-0584	054-641-5793
1	賀茂地区	校長代表 菊地 正仁	下田市立稻生沢小学校	415-0032	下田市立野6-1	0558-22-0424	0558-22-1084
		教員代表 西川美穂子	南伊豆町立南伊豆中学校	415-0302	賀茂郡南伊豆町上賀茂744-1	0558-62-0041	0558-62-3345
2	田方地区	校長代表 若月 哲也	函南町立函南中学校	419-0114	田方郡函南町仁田56	0559-78-3145	055-979-7082
		教員代表 黒石 久子	伊豆の国市長岡南小学校	410-2211	伊豆の国市長岡1294-1	055-948-0106	055-948-2580
3	東豆地区	校長代表 荒井 威雄	伊東市立対島中学校	413-0232	伊東市八幡野1128-3	0557-53-0046	0557-53-1184
		教員代表 小松 里奈	熱海市立伊豆山小学校	413-0002	熱海市伊豆山711	0557-80-5245	0557-80-2275
4	三島地区	校長代表 大村 慎一	三島市立坂小学校	411-0015	三島市市山新田163-2	055-971-1231	055-976-4369
		教員代表 村松 由理	三島市立山田中学校	411-0022	三島市川原ヶ谷842-4	055-981-2474	055-981-2476
5	駿東地区	校長代表 庄司 勝彦	裾野市立東小学校	410-1121	裾野市茶畑399	055-992-0049	055-992-1300
		教員代表 高橋 靖彦	小山町立明倫小学校	410-1312	駿東郡小山町菅沼627	0550-76-0064	0550-76-0051
6	沼津地区	校長代表 高村 淳子	沼津市立浮島小学校	410-0318	沼津市平沼811	055-966-2004	055-966-2549
		教員代表 大石 明美	沼津市立原中学校	410-0312	沼津市原576	055-966-0138	055-966-1612
7	富士地区	校長代表 津田 美知子	富士宮市立東小学校	418-0072	富士宮市矢立町227	0544-27-2573	0544-22-2360
		教員代表 鈴木 未彩	富士宮市立黒田小学校	418-0035	富士宮市星山1030-2	0544-26-2670	0544-22-2361
8	静岡地区	校長代表 尾崎 未希	静岡市立足久保小学校	421-2124	静岡市葵区足久保口組3276-2	054-296-0051	054-296-1857
		教員代表 小倉 拓海	静岡市立蒲原中学校	421-3203	静岡市清水区蒲原49	054-385-4115	054-385-4116
9	志太地区	校長代表 羽山 和美	焼津市立大井川東小学校	421-0205	焼津市宗高428	054-622-0010	054-622-7910
		教員代表 萩山 嵩心	島田市立川根中学校	428-0103	島田市川根町身成3340	0547-53-2036	0547-53-2039
10	榛原地区	校長代表 櫻井 真弓	牧之原市立相良小学校	421-0504	牧之原市波津1642	0548-52-1433	0548-52-5844
		教員代表 塚本 彰子	牧之原市立細江小学校	421-0421	牧之原市細江1260	0548-22-0024	0548-22-8538
11	小笠地区	校長代表 石山 千夏	掛川市立大坂小学校	437-1421	掛川市大坂5667	0537-72-2518	0537-72-4243
		教員代表 榛葉 恵理	掛川市立北中学校	436-0342	掛川市上西郷220-2	0537-24-1915	0537-24-1916
12	磐周地区	校長代表 竹下 敦子	袋井市立袋井東小学校	437-0021	袋井市広岡2317-1	0538-42-2345	0538-43-2306
		教員代表 小杉 むつみ	森町立宮園小学校	437-0225	周智郡森町谷中650	0538-85-3766	0538-85-3767
13	湖西地区	校長代表 藤井 千帆	湖西市立東小学校	431-0421	湖西市新所680	053-578-1094	053-578-3345
		教員代表 菅原 拓也	湖西市立白須賀小学校	431-0451	湖西市白須賀5030	053-579-0330	053-579-2383
本部専門員	静岡	田方 萩野 千賀	伊豆の国市立韭山小学校	410-2123	伊豆の国市四日町350	055-949-1023	055-949-3611
	静岡	作品展示 石塚 正浩	静岡市立長田東小学校	421-0112	静岡市駿河区東新田3-10-1	054-259-7516	054-257-8932
		静岡 小林 典子	静岡市立松野小学校	421-2122	静岡市葵区松野598-2	054-294-0002	054-294-0122
		静岡 勝山 幸子	静岡市立大里西小学校	422-8058	静岡市駿河区中原400	054-285-9195	054-288-7630
		静岡 望月 絵里子	静岡市立南部小学校	422-8074	静岡市駿河区南八幡町11-1	054-286-8019	054-288-7632
		静岡 川口 史記	静岡市立井宮小学校	420-0876	静岡市葵区平和1-7-1	054-271-5288	054-252-7134
		静岡 高野 早紀	静岡市立清水興津小学校	424-0204	静岡市清水区興津中町350-1	054-369-0185	054-369-0187
		静岡 織部 祐衣	静岡市立服織小学校	421-1215	静岡市葵区羽鳥六丁目9-1	054-278-6322	054-277-0264
		静岡 成岡 陽奈	静岡市立新通小学校	420-0042	静岡市葵区駒形通二丁目4-47	054-252-1301	054-252-2629
	静岡西	志太 秋山 綾子	島田市立島田第一小学校	427-0038	島田市稲荷二丁目19-1	0547-35-5211	0547-35-5216
	磐周	小杉 むつみ	森町立宮園小学校	437-0225	周智郡森町谷中650	0538-85-3766	0538-85-3767

令和7年度 書写教育部 研究部 役員一覧

		氏 名	学 校 名	職 名	Email	個別／共用
部 長		羽山 和美	焼津市立大井川東小学校	校長	ooigawa_higashi_sho@city.vaizu.lg.jp	共用
副 部 長		井上 聖一郎	静岡市竜南小学校	校長		
		荒井 威雄	伊東市立対島中学校	校長		
事 務 長		小林 良樹	焼津市立豊田小学校	教諭	toyoda_sho@city.vaizu.lg.jp	共用
幹 事	校 長	荒井 威雄	伊東市立対島中学校	校長		
		井上 聖一郎	静岡市竜南小学校	校長		
		大村 慎一	三島市立坂小学校	校長		
	教職員	小倉 拓海	静岡市立蒲原中学校	教諭		
		小松 里奈	熱海市立伊豆山小学校	教諭		
		石塚 正浩	静岡市立長田東小学校	教諭		
会 計 監 査		荒井 威雄	伊東市立対島中学校	校長		
		井上 聖一郎	静岡市立竜南小学校	校長		
		大村 慎一	三島市立坂小学校	校長		
研究大会	実行委員長	高村 淳子	沼津市立浮島小学校	校長	t1950@numazu-szo.ed.jp	個人
	事務局長	大石 明美	沼津市立原中学校	教諭	t3850@numazu-szo.ed.jp	個人
編 集 員	主 任	小林 良樹	焼津市立豊田小学校	教諭	toyoda_sho@city.vaizu.lg.jp	共用
	大会報告執筆者	大石 明美	沼津市立原中学校	教諭	t3850@numazu-szo.ed.jp	個人
	研究冊子執筆者	榛葉 恵理	掛川市立北中学校	教諭	office@kita.ed.kakegawa-net.jp	共有
	研究部成果刊行物責任者	小林 良樹	焼津市立豊田小学校	教諭		
会 計	主 任	田宮 宗典	藤枝市立藤枝中学校	教諭	fujieda-jh@fujieda-ed.jp	共有
	夏季大会	中山 毬子	沼津市立片浜小学校	教諭	t0850@numazu-szo.ed.jp	共有
評議員		部長と事務長は評議員を兼ねる				

令和7年度以降の「夏季研究大会」予定

ここ数年間の夏季大会

年度	地域	地区	開催日時	開催会場など
平成27年度	東 部	三島・田方	8月6日(木)	伊豆の国市「韮山文化センター」 大会長:田村 昭 校長 参加者:165名
平成28年度	中 部	静岡	8月4日(木)	静岡市「はーとびあ清水」 大会長:四方 行英 校長 参加者:216名
平成29年度	静 西	磐周 浜松・湖西	8月9日(水)	全国書写書道研究会 全国大会 浜松市「クリエート浜松」 508名 大会実行委員長:紅林 定宏 校長
平成30年度	静 東	駿東・沼津	8月8日(水)	沼津市「沼津市民文化センター」 大会長:福島 英子 校長 参加者:215名
令和元年度	静 西	小笠・榛原	8月7日(水)	菊川市「文化会館アエル」 大会長:石谷 和親 校長 参加者:127名
令和2年度	静 東	富士	紙上開催 「書写研」にて	紙上発表 大会長:犬浦 教雄 校長
令和3年度	静 岡	静岡	8月4日(水)	静岡市「県教育会館」 大会長:望月 俊昭 校長 オンデマンド形式
令和4年度	静 西	志太	8月3日(水)	藤枝市「生涯学習センター」 大会長:羽山 和美 校長 参加者:72名
令和5年度	静 東	三島・田方	8月2日(水)	三島市立北小学校 大会長:菊地 勝義 校長 参加者:98名
令和6年度	静 西	磐周・湖西	8月7日(水)	福田中央交流センター 大会長:竹下 敦子 校長 発表者:湖西 飯田 倭希教諭(鷺津小) 磐周 谷口 大士教諭(旭が丘中) 参加者:140名
令和7年度	静 東	駿東・沼津	8月6日(水)	沼津教育会館 大会長:高村 淳子 校長 発表者:賀茂 村松 未央教諭(河津小) 東豆 太田 泰成教諭(伊東南中)
令和8年度	静 岡	静岡	8月5日(水)	国語科がオンラインになる可能性あり。その
令和9年度	静 西	小笠・榛原		日にちは国語科と要相談。(図書館とも確認した方がよい) * 基本は初日が書写、2日目为国語
令和10年度	静 東	富士		

担当地域・地区ローテーション

静東		駿東・沼津 30年	富士 R2年	三島・田方 R5年	駿東・沼津 R7年	富士 R10年
静岡			静岡 R3年		静岡 R8年	
静西	磐周 29年	小笠・榛原 R元年	志太 R4年	磐周・湖西 R6年	小笠・榛原 R9年	

書写教育研究部

- 1 テーマ 「正しく整えて書くことを生活に生かそうとし、文字文化を大切にする子を育てる」
- 2 方 法 集合開催、リアルタイム配信、オンデマンド配信
- 3 期 日 令和7年8月6日（水）
- 4 会 場 沼津教育会館
- 5 参加数 155名
- 6 内 容 実践発表、指導講評・講演

実践発表

- ① 河津町立河津小学校 村松 未央 教諭
正しく書くことを、生活に生かす書写指導～子供たちが自ら追求したくなる授業づくり～
- ② 伊東市立門野中学校 太田 泰成 教諭
文字のもつ力に気づき、文字文化を生活に生かすことができる生徒の育成

指導講評・講演

講師 紅林定宏 氏（こばとこども園前園長）

演題 文字文化の継承に繋がる書写学習の在り方について考える

【大会を振り返って】

「正しく整えて書くことを生活に生かそうとし、文字文化を大切にする子を育てる」をテーマに夏季研究大会駿東・沼津地区大会をハイブリット形式で開催した。

小学校の実践発表では「正しく書くことを生活に生かす書写指導」を主題に、正しい姿勢と筆記具の持ち方を、合い言葉や書写体操で整えていくこと、課題意識を持って毛筆学習に臨む工夫ある実践、自己・他者評価の導入により、仲間と練り合い、日常的に毛筆に触れることで自己目標の実現や課題の克服に成果があったことが報告された。

中学校の実践発表では「文字のもつ力に気づき、文字文化を生活に生かすことができる生徒の育成」を主題に、好きな言葉や企業ロゴ、市街の看板等に着目し、相手や目的を意識して書くことで文字のもつ力に気づく実践が紹介された。テキストマイニングで可視化することで生徒の実感を深めていく効果に繋がったことが報告された。

指導助言・講演では、こばとこども園前園長 紅林定宏氏に御指導いただいた。教科・教材の本質や子供の実態・課題を授業者が理解することの具体として、子供たちが書き順等を間違えた理由の理解、あいまいで自由を奪う指示の避け方等を御示唆いただいた。また、文字の成り立ちを理解することで、姿勢や筆記具の持ち方の意味理解、書き順の指導や文字のよさへの気づきに繋がることを、水書の実践を交えながら御指導いただいた。

併せて昨年度の静岡県席書コンクール作品を展示し、鑑賞会を行った。大会開催にあたり、多くの関係者の皆様に御協力いただいたことに感謝を申し上げ、大会報告とする。

【アンケートより】

1 実践発表について

- ・姿勢とえんぴつの持ち方は普遍的に重要な指導事項であることを再認識しました。また、筆ペンを常設して、筆を身近な筆記具にするという研究は、6年生だからこそ成功したのだらうと思いますが、新しい視点を感じました。機会があれば、同じような実践をしてみたいです。
- ・書写指導において、課題について話し合ったり練りあったりする場を取り入れることが難しいと感じていたのですが、書いたものに直接コメントを入れることにより子供たちも意欲的にできることが分かりました。また、中学校の発表では、市全体で取り組んでいて素晴らしいと思いました。単元を構想する上で、導入を工夫していたところが参考になりました。
- ・スマホやタブレットを使用する機会が増え、子どもたちの文字離れが進んでいます。文字を書くことが苦手という子がたくさんいますが、発表の中で、文字の持つ力を子どもたちが意識でき、書くことの楽しさや伝えたいという思いが高まっていった様子が感じられ、たいへん参考になりました。ICTを上手に活用したり、子どもたちが生き生きと取り組めるような課題を設定したりすることの大切さを実感しました。
- ・これまでの書写の授業は、どうしても作品を出品することが目的になってしまい、お手本通りに書くことや集中して取り組むこと、よく見て書くことを意識した授業づくりになってしまっていました。しかし、先生方の授業実践を聞いて「書くことの楽しさの実感」「文字そのものがもつ魅力に気づく」という言葉が非常に胸に残りました。生徒たちが「楽しい!」と思えるような授業づくりと、自然と集中できるような課題設定が行えるように、国語の授業と同じような教材研究と教材理解を図っていきたいと思いました。書写の授業をやるのが、本当に楽しみです!

2 指導講評・講話について

- ・教材や道具の準備などによる環境整備の大切さを改めて学び、日常的に筆に触れ、日常にまた返すことを少しでも生かしたいと思いました。また、紅林先生のバランスという言葉を使わず、具体的に子供達に伝えることや、筆順や字形の理由を子どもの成長段階に合わせて伝えることが、わかりやすい指導へつながっているんだというお話を自分の指導へ少しでも生かしていけるよう、頑張りたいと思いました。オンラインでも筆ペンを持って参加して、私も少し字が上手くなったような気持ちでいます。子供達にもそのように感じてもらえるよう精進します。
- ・自分の字を好きになることが大事であること。バランスがよいという評価はわかりにくいこと。お手本をよく見るという指導をしないこと。など、胸に突き刺さることがいくつもありました。今後に生かしていこうと思います。ありがとうございました。
- ・「書写の目標は、自分の字が好きとその子が言えるようになること」と聞き、はっとしました。日々の書写の授業を、子供が楽しむために、指導者として気持ちを新たに工夫改善していきたいです。水筆の実技指導も、とても楽しかったです。準備が多く、大変だったと思いますが、貴重な機会を整えていただき、ありがとうございました。この経験を、必ず子どもへの指導で生かしていきたいです。
- ・紅林先生のお話は、さあ書いてみて。と促されて書く心地よさ…のようなものを感じました。子どもたちから、自由を奪ってはいけない…肝に銘じて今後の書写の授業 国語の学習に臨みたいと思います。ひらがなが、どんな漢字からできているのか知ったうえで、ひらがなの字形を見直すのは、とて

も大切だと思いました。ノート指導にも、紅林先生から教えていただいたポイントを抑え、声掛けをしたら、子どもたちが自分の字を好きになるきっかけを作れるだろうと感じました。書写教育の大事なところを教えていただけたような気がします。ありがとうございました。

・大変楽しく、あっという間の充実した時間でした。これまで特に深く考えることなく当たり前として指導してきてしまったことを、改めて見つめ直す良いきっかけを与えていただきました。左利きの子への指導、持ち方の指導、左回りの風車の座席、準備と片付けの工夫など、目から鱗の内容ばかりでした。これからの書写指導が楽しみになりました。

【大会運営について】

・今大会は、集合参加とリアルタイム配信参加・オンデマンド配信参加を選択して参加する形式での大会実施となったため、会場の収容人数に限りがある場合でも、多くの方にご参加いただくことができました。講師が急遽変更となったが、指導・助言を賜った紅林氏が、快く引き受けてくださり、感謝に堪えない。

・当日が午後開催となったため、午前中にリハーサルを実施できた。配信業者に依頼して動画編集・配信の手続きができたことはありがたかった。

・事前申し込みをせずに、会場に来たり、リアルタイムで参加したりする方が何名か見受けられた。

・リアルタイムとオンデマンドのどちらでもよいと解釈した方が何名かいた。

・オンライン参加者に、無理のない範囲で水書版を準備するよう周知すると良かった。

・アンケートをWeb回答のみにしたので、集約の時間が大幅に削減できた。一方、いずれの参加方法でも、アンケートに回答していない方が一定数見受けられた。

・複数の市町が合同で運営をする場合、Googleクラスルーム等インターネット上のシステムを活用する、メールをグループ配信にするなど、一斉に連絡をする手段を講じれば更に時間短縮に繋がったと思う。

・オンデマンド配信の開始日が一日遅れることになり、急遽HPで連絡をした。参加者に迷惑をかけてしまい申し訳なかった。

お名前【 】

令和7年度 第75回静岡県席書コンクール評価会

〔担当：静岡地区〕

目的：各地区から選出された作品の審査や鑑賞等を通して、日頃の指導や評価の在り方を研修する。

日時：令和7年12月5日（金曜日） 〔午前の部〕09：30～12：00 〔午後の部〕13：30～16：00

場所：静岡県教育会館（すんぷらーざ）4F大会議室ほか

次第：

司会：小倉拓海〈静岡市立蒲原中学校〉



午前の部	午後の部	タイムスケジュール
09：30	13：30	全体会①（10min.） 1. 開会の言葉 2. 部長挨拶 〈焼津市立大井川東小学校 羽山和美 校長〉 3. 本日の流れと評価の手順 4. 諸連絡
09：40	13：40	評価（100min.） 午前の部：小学校3年～6年、特別支援 午後の部：小学校1年～2年、中学校
11：20	15：20	全体会②（25min.） 1. 鑑賞（作品を見合う） ⇒最優秀賞の中から特に優れていると感じた作品を選んでホワイトボードに貼る、その作品の良さや審査した学年の傾向について簡単に述べる。 2. 反省会 ～評価の振り返りおよび次年度に向けて～ 3. 副部長挨拶 〈静岡市立竜南小学校 井上聖一郎 校長〉 4. 諸連絡 5. 閉会の言葉
11：45	15：45	地区別作業 ※随時解散

～目次～

- P.1… 評価会要項 ※本ページ
- P.2… 審査担当、評価手順
- P.3… 作品貼付作業「連絡用紙2」（静岡県学校生活協同組合連合会 様より）
- P.4,5… 「席書コンクール」要項
- P.6… 席書コンクールの指導にあたって「評価のポイント」
- P.7… 地区別参加者数一覧
- P.8… 最優秀作品展の案内（該当校、該当者宛て）
- P.9,10… 館内見取り図（地階、4階のみ）

審査担当表 ※敬称略

本研修会開始前にご回答いただいた調査票をもとに割り振り、「派遣願い」等とともに事前にメールでお知らせします。

午前	小3	●●〈専門員〉、●●〈専門員〉
	小4	●●〈専門員〉、●●〈専門員〉、〇〇〈事務局〉
	小5	●●〈専門員〉、●●〈専門員〉、●●〈専門員〉
	小6	●●〈専門員〉、●●〈専門員〉、●●〈専門員〉
	特別支援	荒井校長〈副部長〉、井上校長〈担当地区副部長〉、〇〇〈事務局〉
	【本部】	羽山校長〈部長〉、小倉〈担当地区教員代表〉
午後	小1	●●〈教員代表〉、●●〈教員代表〉、●●〈教員代表〉
	小2	●●〈教員代表〉、●●〈教員代表〉、●●〈教員代表〉
	中1	●●〈教員代表〉、〇〇〈事務局〉 補助：静岡地区専門員（1）
	中2	●●〈教員代表〉、●●〈教員代表〉 補助：静岡地区専門員（1）
	中3	●●〈教員代表〉、●●〈教員代表〉、●●〈教員代表〉
	【本部】	羽山校長〈部長〉、井上校長〈担当地区副部長〉、荒井校長〈副部長〉、小林〈事務局〉、小倉〈担当地区教員代表〉 ほか静岡地区専門員

評価手順

開始時の配付物 ・各地区の作品 ・各地区の名簿 ・キャプション(地区名、学校名を記載) ・最優秀賞受賞者名簿(審査後の記入用) ・振り返り用紙
・作品展の案内プリント(該当者宛て：色付き)人数分 ・最優秀作品展の案内プリント(該当者の所属校宛て：白色)人数分

①【照 合】

「各地区の名簿」と作品裏の「出品票」を照合し、「各地区の名簿」の照合欄に☑を入れる。

通常の学級の部は160点/特別支援学校・学級の部は20点となることを確認する。

②【選 出】

通常の学級の部は18点/特別支援学校・学級の部は2点を選出する。

③【成績処理】 ▲データ処理に時間を要するため、①を最優先で！！

①《最優秀賞》作品裏の出品票を見ながら「最優秀賞受賞者名簿」を記入し、本部に提出する。

②《共通》黒ペンを使い、「出品票」の賞名を○で囲む。

③-1《最優秀賞》赤ペンを使い、「出品票」を見ながら「各地区の名簿」に○を書く。

③-2《優秀賞》「各地区の名簿」を添えて、地区札のある場所へ作品を返却する。

④【諸 作 業】

①-1《最優秀賞》P.3を参考に作品、キャプションを台紙に貼り、本部へ提出する。

①-2「感想・反省用紙」を記入する。 ※提出は④-2にて

①-3《最優秀賞》該当者には「作品展の案内プリント(色付き)」を三つ折りにして茶封筒に入れ(封緘しない)、該当者の所属校には「作品展の案内プリント(白色)」を折らずにそのまま、地区札のある場所へ配付する。

※茶封筒は、印刷した後で本部から各審査場所へ持っていきます。プリントを折る作業を先に行ってください。

※最終確認のため、茶封筒とともに「最優秀賞受賞者名簿」を本部から各審査場所へ持っていきます。

②-1 未使用の「キャプション(=優秀賞止まりの児童・生徒の学校)」、「最優秀賞受賞者名簿」、「振り返り用紙」の3つを本部へ返却する。

②-2 貼り付け作業等で使った文具を元の場所へ戻す。

⑤【地区作業】 ※時間が余った場合のみ

審査後の配付物 ・賞状(各地区180枚+α) ・昨年度的最優秀作品 ・茶封筒(作品展の案内プリント在中)※該当者がいる地区のみ
・作品展の案内プリント ※該当者がいる地区のみ 8 ※「最優秀賞受賞者一覧」プリントは、全体会②にて配付予定

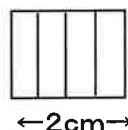
連絡用紙2

静岡県学校生活協同組合連合会

作品貼付作業について

- ・両面テープを使用しての貼り付けになります。
- ・作品(硬筆・半紙)裏面四スミに両面テープを貼付してください。
- ・名札裏面両スミに両面テープを貼付してください。
- ・両面テープは目盛り4つ分(2cm)を目安にご使用ください。

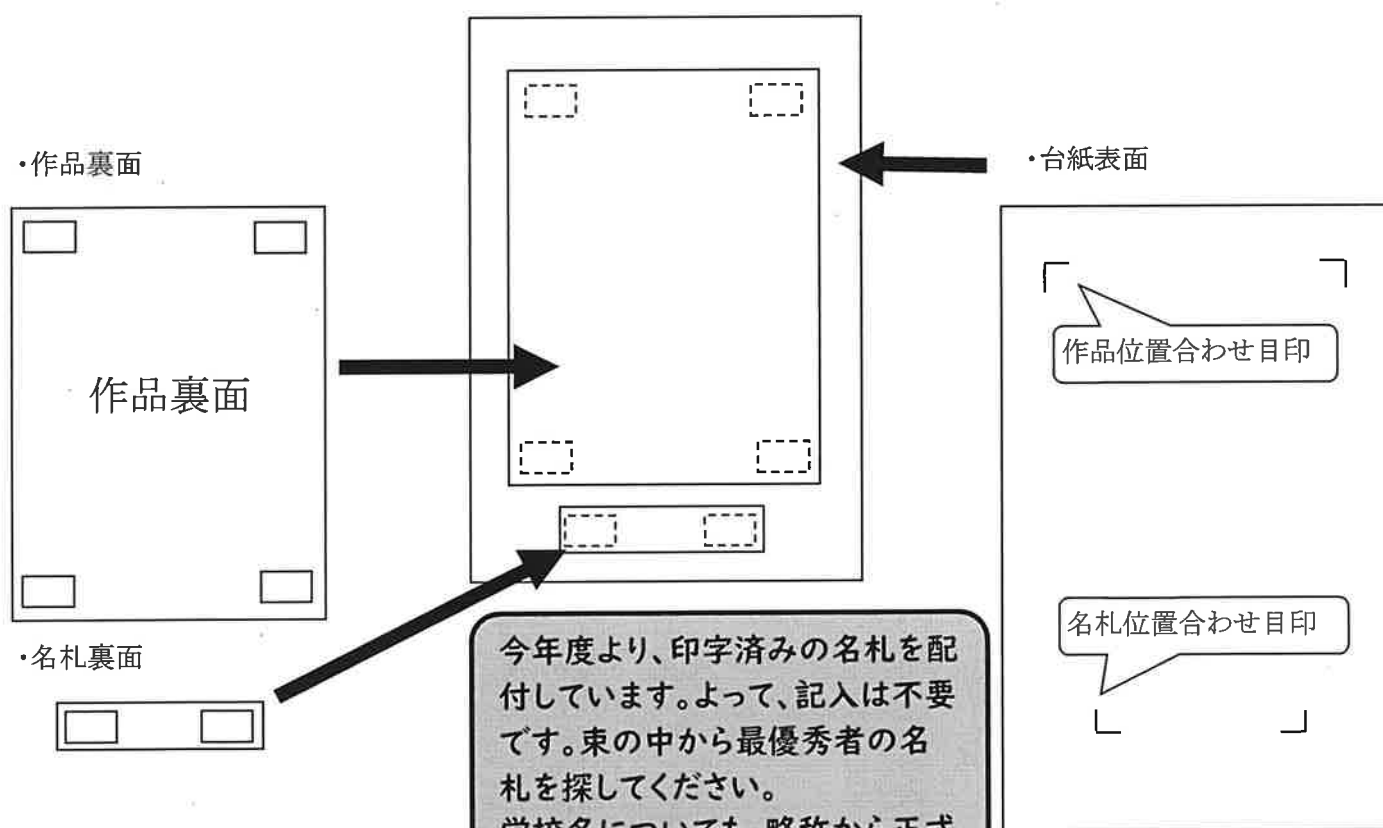
※両面テープは会場へ9巻程度お届けいたします。



このフォントは担当地区
が加筆しています

お願い:使用途中のテープも一緒にお届けしますので、それを使い切ってから、新しいものをご使用いただくと助かります。

●台紙に作品と名札を貼る



名札記入について

- ・地区名と学校名をご記入ください。

今年度より、印字済みの名札を配付しています。よって、記入は不要です。束の中から最優秀者の名札を探してください。
学校名についても、略称から正式名称へと変更しています。
例) 榛原 牧之原市立相良小学

榛 原 相 良 小

令和7年 7月 1日

各学校長 様
書写主任 様

静岡県教育研究会長 北川 和彦
同書写教育研究部長 羽山 和美

第75回 静岡県席書コンクール要項

1. 目的

- ◎児童生徒の書写能力の向上を目指す。
- ◎教職員の指導力向上を目的とし、授業を振り返る資料とする。

2. 実施方法

- (1) 各地区（県内13地区）で定められた期日までに各校で実施し、授業中に試し書き（練習）とまとめ書き（清書）をする。
- (2) 小1～中3、各学校単位の参加とする。

3. 地区審査(評価)

- (1) 各地区の審査会において各校から出品された作品のうち、児童生徒数の比率によって定められた各地区規定の点数（6. 連絡事項 に記載）以内を選出する。
- (2) 地区での選出経過や方法は、各地区の裁量とする。ただし、選出経過については、本部へ報告できるようにしておく。

4. 県審査(賞)

- (1) 各地区から選出された各学年160点以内（特別支援は別に各学年20点以内）を「優秀賞」とする。さらに、「優秀賞」の中から各学年20点（うち2点は特別支援）を選定し、「最優秀賞」とする。
- (2) 「最優秀賞」「優秀賞」には、静岡県教育研究会書写教育研究部から賞状を授与する。
- (3) 「最優秀賞」の作品は、展覧会を開き広く一般に公開する。

5. 課題・書体

- ・小学生は楷書、中学生は行書とし、下記のように各学年の課題を定める。
 - ・小1～小2は硬筆、小3～中3は毛筆とする。
 - ・作品には学年と氏名を書く。学年の書き方は、各校で使用している表記としてよい。
- （例：中学校1年生→7年）

学 年	光村図書	教育出版	東京書籍
小学校1年生	ぼくのすきなことは… (P.22)	おじいさんは、かぶを… (P.19)	
小学校2年生	学校にツバメが… (P.34)	お正月に、妹と… (P.28)	
小学校3年生	木 (P.31)	大 (P.19)	
小学校4年生	左右 (P.13)	左右 (P.22)	
小学校5年生	成長 (P.17)	成長 (P.16)	
小学校6年生	感謝 (P.36)	理想 (P.43)	
中学校1年生	日光 (P.61)	栄光 (P.46)	日光 (P.29)
中学校2年生	雲海 (P.68～69)	深緑 (P.60)	若緑 (P.53)
中学校3年生	輝ける未来 (P.103)	美し自然 (P.90)	栄光のかけ橋 (P.93)

6. 連絡事項

(1) 各地区の1学年あたりの「優秀賞」選出点数

地 区	出品点数（特別支援）	地 区	出品点数（特別支援）
賀 茂	4（1）	静 岡	3 6（2）
田 方	6（1）	志 太	2 2（2）
東 豆	6（1）	榛 原	6（1）
三 島	6（1）	小 笠	1 0（2）
駿 東	1 4（2）	磐 周	1 4（2）
沼 津	1 0（2）	湖 西	4（1）
富 士	2 2（2）	計	1 6 0（2 0）

(2) 各地区からの作品の提出方法

- ・各地区で取りまとめた作品は、令和7年11月28日（金）までに最寄りの学生協に提出し、県学生協連合会に搬入する。または、審査会当日に各地区教員代表が持参する。
- ・基本、規定の出品一覧表、出品票を使用し、間違いのないように確認する。

(3) 県審査会の持ち方

- ・日 時：令和7年12月5日（金）9：30～（小学校3～6年生、特別支援）
13：30～（小学校1～2年生、中学校1～3年生）

会 場：静岡県教育会館4階大会議室ほか（静岡市葵区駿府町1-12）

審査員：正副部長、事務局、各地区教員代表、本部専門員

- ・審査後、所定の台紙に貼り展示準備を行う。

(4) 最優秀作品展

【会 期】令和7年12月19日（金）～令和8年1月15日（木） ※最終日は15：00まで

開館時間：平日8：30～21：00 土曜日9：00～17：00

休 館 日：12月21日（日）、12月29日（月）～1月4日（日）、1月12日（月）

【会 場】静岡県教育会館ギャラリー

展示作業…12月18日（木）17：00～

片付作業…1月15日（木）15：00～

問い合わせ先

静岡県教育研究会書写教育研究部

部長：羽山 和美（焼津市立大井川東小学校）

TEL 054-622-0010

FAX 054-622-7910

担当：小倉 拓海（静岡市立蒲原中学校）

TEL 054-385-4115

FAX 054-385-4116

席書コンクールの指導にあたって(評価のポイント)

静岡県教育研究会 書写教育研究部

	指導評価のポイント	学習指導要領
小学校硬筆	・「とめ」「はね」「はらい」が正確である。 ・始筆・終筆が自然である。 ・字形が整い、接筆が正確である。 ・鉛筆の濃さは不問。ただし、汚れがひどい場合は、評価が低くなる。 ・消し直しができない(原則、消しゴムは使用しない)。 ・ます目からはみ出さない(ますの大きさの七、八割程度の大きさ)。 ・2年生は漢字と平仮名のバランスに注意する(配慮した作品の評価は高くなる)。	【第一学年および第二学年】 ア 姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。 イ 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。 ウ 点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。
小学校毛筆	・字形、配置、筆順など、各課題文字のねらいとする事項を押さえている。 ・筆圧、接筆が適切である。 ・硬筆に通じる自然な筆遣いである。 ・学年、氏名は、位置に気をつける。 ・漢字と仮名の大きさに注意する。 ・《高学年にあつては、以上に加え》 ・用紙と文字とのバランスに注意する。 ・穂先と点画のつながりを意識する。	【第三学年および第四学年】 ア 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。 イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。 ウ 毛筆を使用して、点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。 【第五学年および第六学年】 ア 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。 イ 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。 ウ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。
中学校毛筆	・字形、配置、筆順など、各課題文字のねらいとする事項を押さえている。 ・正しい連続や省略の仕方で、筆脈のつながりをもたせて、一字一筆で書く。(原則として、墨継ぎをしない) ・硬筆に通じる自然な筆遣いである。 ・学年、氏名は、位置に気をつけ、行書に調和させて書く。	【第一学年】 ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。 【第二学年】 ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。 【第三学年】 ア 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。
評価全般の基準	・学習指導要領の指導事項に準じて審査する。コンクールという性格上、上級学年の事項も勘案する。 ・補筆(なぞり、書き足し等)した作品は不可。程度にもよるが、それらが明確な場合は没書とする。 ・書き写しは不可。(判断は難しいが)、明確な場合、原則として没書とする。 ・紙を折って書くことは構わない。ただし、それによって書線が飛んだり、汚れたりしている場合は、評価は低くなる。 ・線質については評価の重要な要素とはしない。運筆・用筆の観点から、書線のよい作品はその価値を認める。 ・用紙は「清書」にふさわしいものを選ぶ。 ・氏名については規定に則って書かれていれば、それ以上の審査の対象にはしない。並んだ場合は配慮対象とする。	

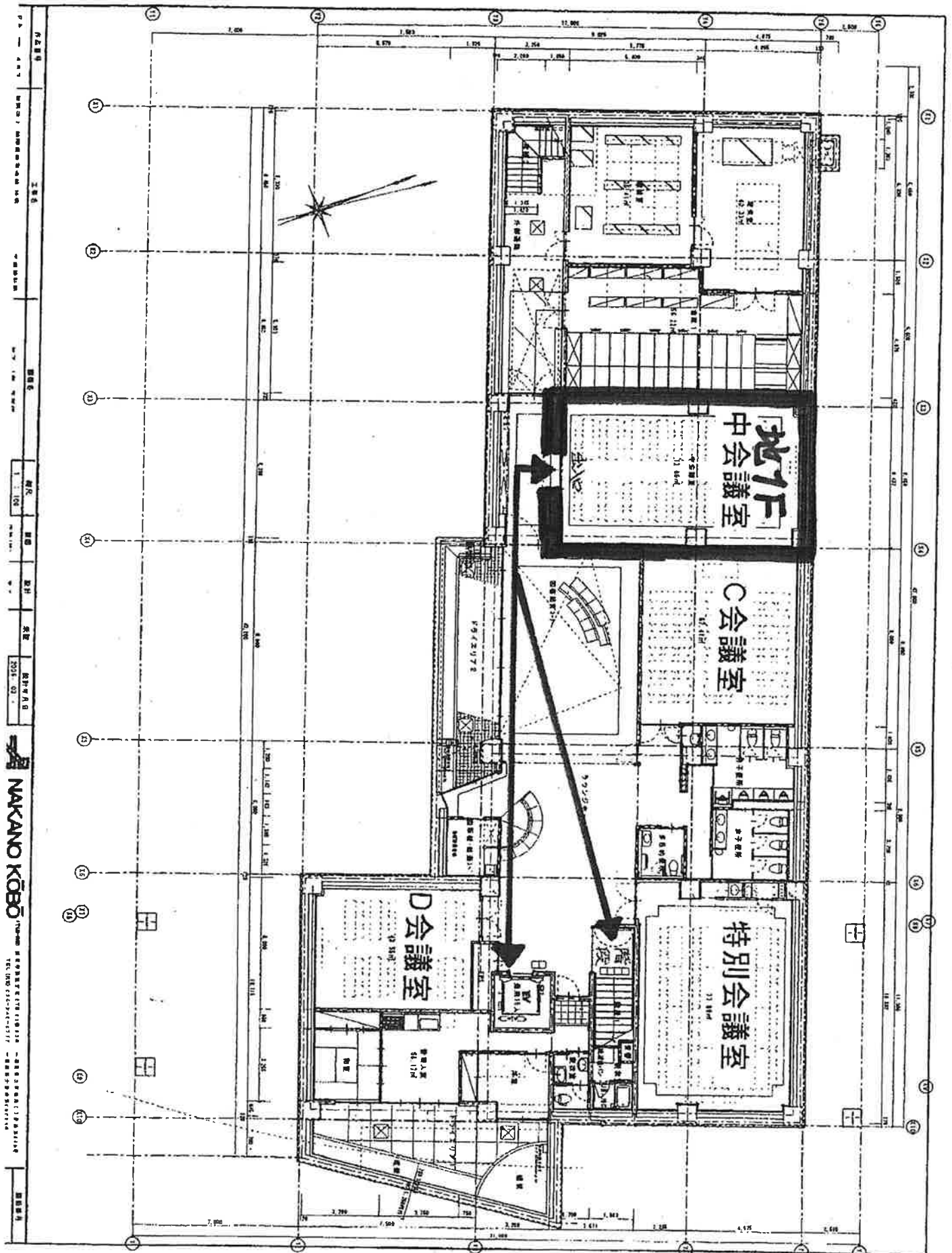
制定:平成25年10月4日

改定:令和3年8月10日

参加数一覧

通常の学級	1. 賀茂	2. 田方	3. 東豆	4. 三島	5. 駿東	6. 沼津	7. 富士	8. 静岡	9. 志太	10. 榛原	11. 小笠	12. 磐田	13. 湖西
小1													
小2													
小3													
小4													
小5													
小6													
中1													
中2													
中3													
合計													

特別支援教育	1. 賀茂	2. 田方	3. 東豆	4. 三島	5. 駿東	6. 沼津	7. 富士	8. 静岡	9. 志太	10. 榛原	11. 小笠	12. 磐田	13. 湖西
小1													
小2													
小3													
小4													
小5													
小6													
中1													
中2													
中3													
合計													



各地区教員代表の方へ ～地区評価(審査)終了後の作業について～

- ①下の【基本情報】を入力する。
- ②〔小1〕～〔中(特支)〕のシートに出品者情報を入力する。
- ③-1 下の【提出方法】に則り、データを席書担当の教員代表へ提出する。
- ③-2 学年別名簿（特別支援の部は校種別名簿）を1部添えて、作品を最寄りの学生協へ提出する。

提出期限：11/28（金） ※データ・作品共通

【基本情報】

地区名 地区名を選択

参加作品点数 ※各学校の参加作品数を足したすべての作品数

通常学級の部		特別支援の部		学年計	総数
小1	ここに半角で入力	小1	ここに半角で入力	0	0
小2	ここに半角で入力	小2	ここに半角で入力	0	
小3	ここに半角で入力	小3	ここに半角で入力	0	
小4	ここに半角で入力	小4	ここに半角で入力	0	
小5	ここに半角で入力	小5	ここに半角で入力	0	
小6	ここに半角で入力	小6	ここに半角で入力	0	
中1	ここに半角で入力	中1	ここに半角で入力	0	
中2	ここに半角で入力	中2	ここに半角で入力	0	
中3	ここに半角で入力	中3	ここに半角で入力	0	

【留意事項】

- ・名簿の記載順に指定はありません。高評価順や学校番号順等、各地区の裁量とします。
- ・ただし、名簿の記載順と作品を重ねる順番を一致させてください。

【提出方法】

提出手段 メール（パスワード付き）

提出先 t2552@shizuoka.ednet.jp

パスワード
設定方法

- ①左上の【ファイル】タブを選択する
- ②左側メニューから【情報】を選択する
- ③【ブックの保護】を選択する
- ④【パスワードを使用して暗号化(E)】を選択する
- ⑤【2575】を入力する ※2025年度 第75回の意
- ⑥もう一度【2575】を入力する

【問い合わせ先】

静岡市立蒲原中学校 小倉拓海
TEL: 054-385-4115



「出品者名簿」を開いたら、この「はじめに」シートを開く。

次に、各シートに学校名、氏名の2箇所を入力する。

準備完了

席書コンクール出品票 [通常の学級]

地区	静岡	学校番号	75
校名	静岡市立葵駿中		
学年	3 年	県審査(名簿記載)番号	7
氏名	見本 太郎		
成績	最優秀	優秀	
通常の学級			

地区…所属地区等を記入します。

校名…“学校”は省略し、〇〇小／〇〇中／〇〇小中の形で記入します。

学年…“小”“中”は省略して記入します。

氏名…名簿と照合するため、例えば、作品の氏名に平仮名を使った場合であっても、正式な文字で記入します。
成績…記入しません。※審査後に〇で囲んで返却します。

※上記5項目が書かれていれば、〔学校番号〕や〔県審査(名簿記載)番号〕の欄は、各地区の裁量により変更可です。

《注意事項》

★このままのサイズで使います。

★作品裏面の右下に固形のり／テープのり／ラベルテープで貼り付けます。液体のり不可

※特別支援学校・学級の出品票は次のページです。

地区		学校番号		地区		学校番号		地区		学校番号	
校名				校名				校名			
学年		年	県審査(名簿記載)番号	学年		年	県審査(名簿記載)番号	学年		年	県審査(名簿記載)番号
氏名				氏名				氏名			
成績	最優秀	優秀		成績	最優秀	優秀		成績	最優秀	優秀	
通常の学級				通常の学級				通常の学級			
地区		学校番号		地区		学校番号		地区		学校番号	
校名				校名				校名			
学年		年	県審査(名簿記載)番号	学年		年	県審査(名簿記載)番号	学年		年	県審査(名簿記載)番号
氏名				氏名				氏名			
成績	最優秀	優秀		成績	最優秀	優秀		成績	最優秀	優秀	
通常の学級				通常の学級				通常の学級			

席書コンクール出品票〔特別支援学校・学級〕

地区	静岡	学校番号	75
校名	静岡市立葵駿中		
学年	3 年	県審査(名簿記載)番号	7
氏名	見本 太郎		
成績	最優秀	優秀	
特別支援			

地区…所属地区等を記入します。

校名…“学校”は省略し、〇〇小／〇〇中／〇〇小中の形で記入します。

学年…“小”“中”は省略して記入します。

氏名…名簿と照合するため、作品の氏名に平仮名を使った場合であっても、正式な文字で記入します。
成績…記入しません。※審査後に○で囲んで返却します。

※上記5項目が書かれていれば、〔学校番号〕や〔県審査(名簿記載)番号〕の欄は、各地区の裁量により変更可です。

《注意事項》

★このままのサイズで使います。

★作品裏面の右下に固形のり／テープのり／ラベルテープで貼り付けます。液体のり不可

※通常の学級の出品票は前のページです。

地区		学校番号		地区		学校番号		地区		学校番号		地区		学校番号	
校名				校名				校名				校名			
学年		年	県審査(名簿記載)番号	学年		年	県審査(名簿記載)番号	学年		年	県審査(名簿記載)番号	学年		年	県審査(名簿記載)番号
氏名				氏名				氏名				氏名			
成績	最優秀	優秀		成績	最優秀	優秀		成績	最優秀	優秀		成績	最優秀	優秀	
特別支援				特別支援				特別支援				特別支援			
地区		学校番号		地区		学校番号		地区		学校番号		地区		学校番号	
校名				校名				校名				校名			
学年		年	県審査(名簿記載)番号	学年		年	県審査(名簿記載)番号	学年		年	県審査(名簿記載)番号	学年		年	県審査(名簿記載)番号
氏名				氏名				氏名				氏名			
成績	最優秀	優秀		成績	最優秀	優秀		成績	最優秀	優秀		成績	最優秀	優秀	
特別支援				特別支援				特別支援				特別支援			

志太	御前崎市牧之原市学校組合立御前崎中学校
静岡	静岡市立蒲原中学校
賀茂	南伊豆町立南伊豆中学校
田方	伊豆の国市立長岡南小学校
東豆	熱海市立伊豆山小学校
三島	三島市立山田中学校
駿東	小山町立明倫小学校
沼津	沼津市立原中学校
富士	富士宮市立黒田小学校
榛原	牧之原市立細江小学校
小笠	掛川市立北中学校

【最優秀賞作品のキャプション（縦 2.5cm×18cm）】

従来比）縦-1.0cm、横+5.5cm 半紙サイズ）縦 約 33.5cm×横 約 24.5cm

主なねらい：評価会の円滑化、役割の明確化

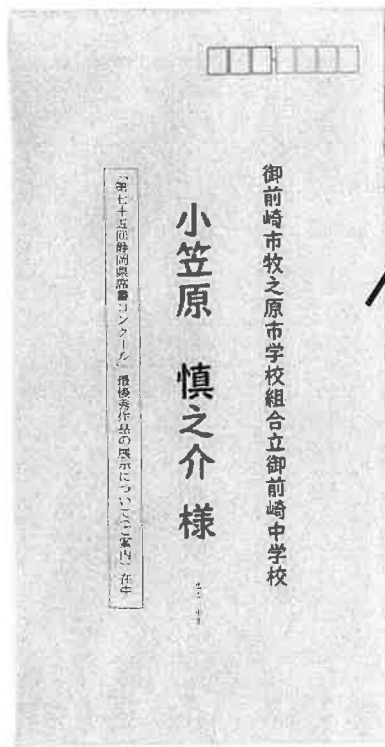
《従 前》 学生協を通じて業者へ別注した紙に、審査員が手書きした後、台紙に貼り付ける。

《今年度》 各地区から提出された名簿データを引用して事前に差し込み印刷し、審査員は束から探して台紙に貼り付ける。

※初年度は時間が読みづらいため、担当地区で事前に印刷して切り取った物を評価会に持ち込み、
審査開始時に束にした状態で配付。



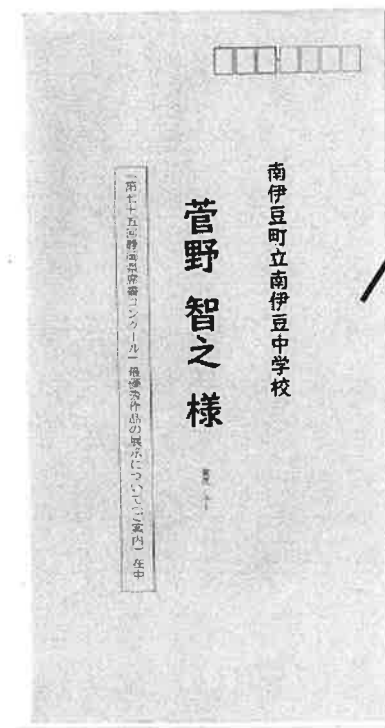
氏名2文字（空きなし）



氏名6文字（全角空きあり）



氏名4文字（空きなし）



氏名4文字（半角空きあり）

【最優秀賞受賞者宛ての封筒（長3）】

印字内容：学校名、氏名、地区名、学年、封入物

主なねらい：評価会の円滑化、役割の明確化

《従 前》審査員が手書きする。

《今年度》審査後に本部へ提出された「最優秀賞受賞者名簿」をもとにその場で差し込み印刷する。

※会終了後の地区作業で活用するため、全体会Ⅱで「最優秀賞受賞者名簿」を紙媒体で配付する。よって、データ
21
入力必須であり、書き初めコンクールでも同様の作業を行っているため、手間はさほど増えない。

令和7年10月7日

各学校長 様
書写主任 様

静岡県教育研究会会長 北川 和彦
同 書写教育研究部長 羽山 和美

第19回 静岡県小中学校児童生徒書き初めコンクール要項

このことについて下記の要領で実施いたします。各校では計画的なご指導により、全児童・生徒が参加できますようにご高配のほどお願いいたします。

記

1. 目 的

◎わが国伝統の書き初めを通して、児童生徒が文字文化を体験し、書写能力の向上を目指す。

2. 実施方法

- (1) 年末年始の各学校での指導で、規定の課題による作品づくりをする。
- (2) 小1～中3、各学校単位とする。

3. 地区審査(評価)

- (1) 各地区で行っている審査会(評価会)において、各学校から出品された作品の中から、児童生徒数の比率によって定められた、各地区規定の点数(連絡事項に記載)以内を選出する。
- (2) 地区(県内13地区)での選出経過や方法は、地区の審査会の実情によって行う。ただし、その選出経過については、本部に報告できるようにしておく。

4. 県審査(賞)

- (1) 各地区から選出された各学年80点以内(特別支援は別に各地区学年1点以内)を「優秀賞」とする。「優秀賞」の中から各学年8点(うち1点は特別支援)を審査によって選定し、「最優秀賞」とする。
- (2) 「最優秀賞」「優秀賞」には、静岡県教育研究会書写教育研究部から賞状を授与する。
- (3) 「最優秀賞」の作品は、展覧会を開き広く一般に公開する。

5. 課題・書体

- ・小学生は楷書、中学生は行書とし、下記のように各学年の課題を定める。
- ・小1・2年はフェルトペン、小3～中3年は毛筆。小学生は楷書、中学生は行書とする。
- ・作品には学年と氏名を書く。学年の書き方は、各校で使用している表記としてよい。

(例 中学1年→7年)

学年	課題	学年		学年	課題
小1	あさひ	小4	水の流れ	中1	清らかな川
小2	ふるさと	小5	光る大地	中2	豊かな自然
小3	花がさく	小6	四季の美	中3	白雪の富士

6. 連絡事項

(1) 各地区の「優秀賞」選出点数

地 区	「優秀賞」学年選出点数 (特別支援)	地 区	「優秀賞」学年選出点数 (特別支援)
賀 茂	2 (1)	静 岡	18 (1)
田 方	3 (1)	志 太	11 (1)
東 豆	3 (1)	榛 原	3 (1)
三 島	3 (1)	小 笠	5 (1)
駿 東	7 (1)	磐 周	7 (1)
沼 津	5 (1)	湖 西	2 (1)
富 士	11 (1)		

(2) 各地区からの作品の提出方法

- ・各地区で取りまとめた作品は、令和8年2月3日（火）までに最寄りの学生協に提出し、県学生協連合会に搬入する。
- ・規定の出品一覧表、出品票（席書コンクールと同じ）を使用し、作品の確認をする。出品一覧表は作品と一緒に梱包し、県学生協連合会に届くようにする。

(3) 審査会の持ち方

- ・日 時：令和8年2月10日（火）
 - ・9：30～（小学校3年生～6年生、特別支援）：副部長、本部専門委員
 - ・13：30～（小学校1、2年生、中学校1～3年生）：各地区教員代表
- ・会 場：県学生協連合会4階会議室（静岡市駿河区登呂6丁目14-27）
TEL：054-282-2166
- ・審査は、正副部長、事務局および各地区教員代表、本部専門委員が行う。
- ・審査後、所定の台紙に貼り、展示のための準備をする。

(4) 最優秀作品展

【会 期】 令和8年2月22日(日)～ 3月3日(火)

22日(日)は、12：00～17：00

平日は8：30～21：00 土曜日は9：00～17：00

<最終日は15：00まで>

【会 場】 静岡県教育会館ギャラリー

展示作業…2月22日(日) 8：30～

片付作業…3月 3日(火) 15：00～

3 参加資格

静教研の会員校

私立中学校、特別支援学校は、準会員校であることを確認する。

令和 8 年度 夏季研究大会計画書

書写教育研究部

部長名 羽山 和美

開催日	令和 8 年 8 月 5 日（水） 午前 ・ 午後 ・ 終日		
開催方法	集合開催 ・ リアルタイム配信 ・ オンデマンド配信		
会場	静岡県教育会館すんぷらーざ		
大会テーマ	正しく整えて書くことを生活に生かそうとし、 文字文化を大切にする子を育てる書写教育		
内容	1 日程（案） 12:30～12:55 会場受付 13:00～13:10 開会式 13:15～14:00 実践発表 ① 志太地区小学校（藤枝） ② 榛原地区義務教育学校 14:00～14:15 休憩 14:15～15:45 講演 15:55～16:00 閉会式 2 参加予定数 150 名程度（うち、集合 80 名程度）		
講師	講師氏名	紅林 定宏 氏	
	所属・肩書	学校法人法城学園こばとこども園前園長	
	テーマ	未定	
令和 9 年度研究大会の開催地域		令和 10 年度研究大会の開催地域	
小笠・榛原（静西）		富士（静東）	
全国大会の有無	なし		
備考	令和 8 年度 大会実行委員長 氏名（尾崎 未希） 校名（静岡市立足久保小学校） 令和 8 年度 大会事務局長 氏名（小倉 拓海） 校名（静岡市立蒲原中学校）		

書写教育研究部

自分の課題を見つけ、正しく整えて書こうとする子を育てる授業をめざして

文責任者 榛葉 恵理（掛川市立北中学校）

I はじめに

1人1台端末、ICT授業の推進などにより、現在の生徒たちは「書く」機会が大幅に減少してきている。しかし、学校生活の中では手書きが完全になくなったわけではない。例えば、ノートやワークシートに考えをまとめる活動、テストや高校入試、メモ書きなどである。生徒にとって手書きをするということは、今後も大切なことであると考える。

書写の授業は、授業時間内で完結をせず、日常に生かすことが大切である。例えば、プリントに文字を書くときでも「できるだけ丁寧に書こう」と指導するが、「どのような基準で書くと丁寧になるのか」という基礎・基本の指導は国語科書写の指導内容となる。また国語科では、伝統的な文字文化を学び、継承するという役割も担っている。

そこで私は、『学習指導要領解説 国語編』

（3）我が国の言語文化に関する事項にある「各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写能力を育成すること」に重点を置き、一人一人が自分の課題をもって学習に臨むことができる授業を実践した。

II 研究実践

1 幼稚園児にお礼の手紙を書こう

本校では、2年生の家庭科で保育実習を行っている。その保育実習のまとめとして、「園児に感謝の手紙を送る」という活動がある。今年度、この活動を国語科書写の学習として、教科横断的な実践（全3時間）を行った。

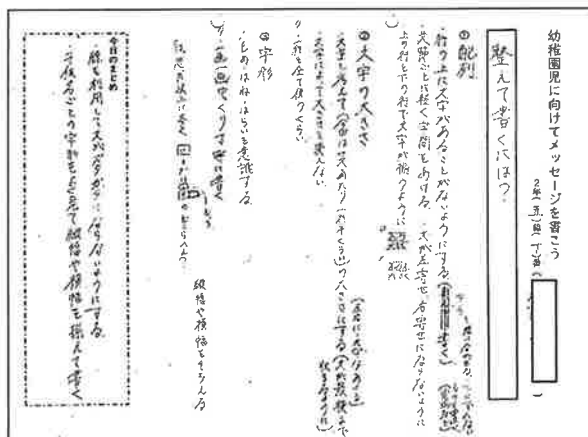
＜第1時＞園児でも読みやすい文字とは？



本時では、以下のことを学習した。

- ①楷書・行書の特徴を確認
- ②使用する書体・文字・筆記具の選択
- ③文章の構成

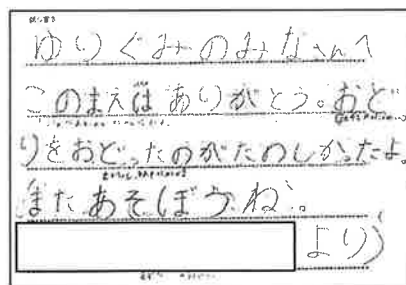
＜第2時＞整えて書くには？



自分の書きたい文章で意識したらよいことは何かを考え、まとめた。

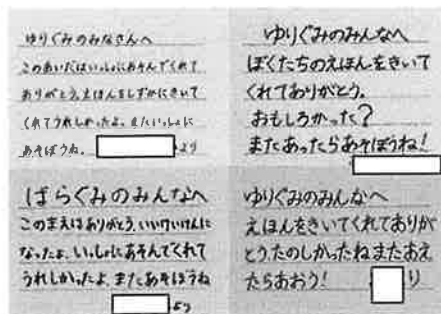
＜第3時＞送る手紙のまとめ書きをしよう

- ① 鉛筆やシャープペンシルを使用した下書き



自分の下書きに前時に考えた「意識すること」を書き込んだ。

- ② サインペンを使用したまとめ書き

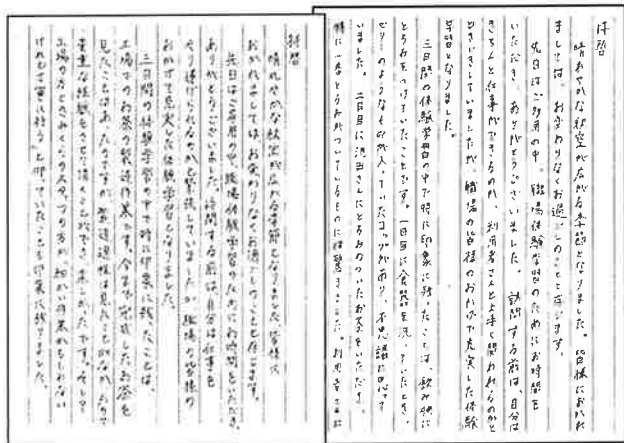


園児が読みやすいよう考えて書いた。

2 職場体験のお礼の手紙を書こう

10月初旬に行った職場見学のお礼の手紙を書写の手本と郵便局の「手紙の書き方体験授業」でいただいた教材を使用して作成した。

生徒たちは、自分の感謝が伝わるよう、一生懸命取り組んだ。また「丁寧に書きなさい」ではなく、「どのような基準で書くと丁寧になるのか」ということに焦点を当て、文字の配列に意識して行った。



3 入学願書を書こう

中学3年最後の書写学習として、高校入試の願書を書くことを通して、形式に合わせた漢字と仮名の調和の配列について理解し、読みやすく書く授業を行った。

願書を「丁寧に書きたい」「相手に読みやすく書きたい」と思っているにも、実際に「丁寧な字」「読みやすい字」というものの基準がわからないと難しいと思われる。そこで、文字の大小が不揃いな例、行書と楷書が入り交じった例など、さまざまな例を見ることで、丁寧な字の基準を明確にし、自分の課題を克服するために練習をして、挑むことにした。



受 検 票		実技検査等に関する事前調査票	
令和7年度 静岡県立高等学校 入 学 者 選 抜		提出を求めている場合のみ記入する。 それ以外は空欄のままとする。 ※以外に志願者が記入する。	
受験番号		志願先 高等学校	静岡県立ふじのくに 国際高等学校
氏 名	掛西花子	学科(科)	普 選抜 段階 II
希望課程	全日制・定時制	受験番号	
志願学科(科)	普	氏 名	掛西花子
志願する希望者 対象の選抜段階	[II]		

受 検 票		実技検査等に関する事前調査票	
令和7年度 静岡県立高等学校 入 学 者 選 抜		提出を求めている場合のみ記入する。 それ以外は空欄のままとする。 ※以外に志願者が記入する。	
受験番号		志願先 高等学校	静岡県立ふじのくに 国際高等学校
氏 名	掛西花子	学科(科)	普 選抜 段階 II
希望課程	全日制・定時制	受験番号	
志願学科(科)	普	氏 名	掛西花子
志願する希望者 対象の選抜段階	[II]		

受 検 票		実技検査等に関する事前調査票	
令和7年度 静岡県立高等学校 入 学 者 選 抜		提出を求めている場合のみ記入する。 それ以外は空欄のままとする。 ※以外に志願者が記入する。	
受験番号		志願先 高等学校	静岡県立ふじのくに 国際高等学校
氏 名	掛西花子	学科(科)	普 選抜 段階 II
希望課程	全日制・定時制	受験番号	
志願学科(科)	普	氏 名	掛西花子
志願する希望者 対象の選抜段階	[II]		

見本と例を見比べて、気がついたところをタブレットで書き込みを行った。

Ⅲ 成果と課題

《成果》

- 単元のゴールの姿を意識することで、より生徒たちの興味や関心が高まり、それぞれに課題をもち、主体的に取り組むことができた。
- 書写の授業で学んだ字形などを日常生活に生かすことができた。特に、ひらがなを意識する生徒が多くいた。
- 手紙など、他者に読まれることを意識して、普段の字を省みる生徒が多くいた。

《課題》

- 書写学習へのさらなる意欲付けになる授業とはどんなものがあるのかを考えたい。毛筆や硬筆の文字に慣れ親しむ環境をつくり、苦手意識をなくす工夫した授業づくりをしていきたい。
- 他教科と関わった言語活動を構想したり、他教科と関わる年間計画を立てたりし、日常に生かす場面を多くつくりたい。

＜令和7年度＞ 各種原稿の執筆計画

1 研究会誌「書写研」

年 度	号	内 容 と 執 筆 者
令和 5年度	58号 (HP上)	◇研究大会報告、研究調査報告（事務長・山本名菜子）
令和 6年度	60号 (HP上)	◇研究大会報告、研究調査報告（事務長・山本名菜子）
令和 7年度	61号 (HP上)	◇研究大会報告、研究調査報告（事務長・小林良樹）

2 『豊かな個性を育てる教育を求めて（ときめき かかわり 未来へつなぐ）』 (12月発行) 2ページ

年 度	号	執 筆 者
令和 2年度	51号	静東／田方 伊豆市立土肥小中一貫校 亀山 諭子
令和 3年度	52号	静西／志太 焼津市立焼津中学校 永田 律子
令和 4年度	53号	静東／駿東 長泉町立長泉小学校 西川 史野
令和 5年度	54号	静岡 静岡市立東中学校 小澤 寿子
令和 6年度	55号	静東／富士 富士市立大淵中学校 塚本 健太
令和 7年度	56号	小笠

3 静教研だより

2ページ

年 度	号	刊行月	内 容 と 執 筆 者
令和 5年度	129号	9月	◇夏季大会報告 大会事務局長 黒石 久子
	130号	1月	実践報告なし
令和 6年度	131号	9月	◇夏季大会報告 大会事務局長 諸井 葵
	132号	1月	実践報告なし
令和 7年度	132号	9月	◇夏季大会報告 大会事務局長 大石 明美
	133号	1月	実践報告なし

「ときめきかかわり未来へつなぐ」執筆ローテーション

① 静西	小笠・榛原		R7 (小笠)
② 静東	賀茂・東豆	H30 (賀茂)	R8 (東豆)
③ 静西	磐周・湖西	R1 (湖西)	R9 (磐周)
④ 静東	田方・三島	R2 (田方)	R10 (三島)
⑤ 静西	志太	R3	R11
⑥ 静東	駿東・沼津	R4 (駿東)	R12 (沼津)
⑦ 静岡		R5	R13
⑧ 静東	富士	R6	R14

【提出物】

令和7年度 書写教育研究部研修報告 ()地区

1, 研究テーマ／重点目標および設定の理由

2, 実施概要(経過および内容)

3, 成果と課題

各地区教員代表の先生方へ

第3回委員研修会での資料になりますので、
お忙しい時期かと思いますが、締切期限厳守で
お願いいたします。

「書写研」にも掲載します。

4, 次年度への構想

*各地区の教員代表の先生方は、地区担当の校長先生と十分にご相談のうえ、上記の形式(A4版1枚)で作成してください。

令和8年1月23日(金)必着で、下記、事務長宛に原稿をメールで送ってください。

toyoda_sho@city.yaizu.lg.jp

焼津市立豊田小学校 小林良樹

提出の際は、削除してください。